



データベースのバックアップをスケジュール設定する

SnapManager Oracle

NetApp
November 04, 2025

目次

| | |
|--------------------------|---|
| データベースのバックアップをスケジュール設定する | 1 |
| バックアップスケジュールを作成しています | 1 |
| バックアップスケジュールを更新しています | 4 |
| スケジュールされた処理のリストを表示します | 4 |
| バックアップスケジュールを一時停止する | 4 |
| バックアップスケジュールを再開しています | 5 |
| バックアップスケジュールを削除しています | 5 |

データベースのバックアップをスケジュール設定する

SnapManager（3.2以降）for Oracleを使用すると、高いパフォーマンスを維持するために、オフピークの時間帯にデータベースのバックアップを定期的に実行するようにスケジュール設定できます。バックアップのスケジュールを設定するには、データベース情報と保持ポリシーを含むプロファイルを作成し、バックアップのスケジュールを設定します。



バックアップは管理者としてスケジュールする必要があります。バックアップを既存ユーザ以外のユーザとしてスケジュールしようとすると、SnapManagerに「Invalid user : username : cannot create schedule backup for a given user」というエラーメッセージが表示されます

スケジュール関連のタスクの一部を次に示します。

- ・データベースバックアップのスケジュールを、毎時、毎日、毎週、毎月、または1回ごとに設定します。
- ・プロファイルに関連付けられているスケジュールされたバックアップのリストを表示します。
- ・スケジュールされたバックアップを更新する。
- ・スケジュールを一時的に中断します。
- ・中断したスケジュールを再開します。
- ・スケジュールを削除します



[今すぐメニュー操作を実行する*] チェックボックスは、スケジュールされたバックアップがそのスケジュールに対して実行されている場合は無効になります。

バックアップスケジュールを作成しています

バックアップは、データと環境に適した時間と頻度で実行するようにスケジュールを設定できます。

SnapManager 3.2 for Oracleでは、アーカイブ・ログ・ファイルのバックアップを個別にスケジュール設定できます。ただし、作成したプロファイルを使用して、アーカイブ・ログ・ファイルを分離する必要があります。

データファイルとアーカイブログファイルのバックアップを同時にスケジュールした場合、SnapManagerは最初にデータファイルのバックアップを作成します。

スケジュール間隔を -onetimeonly として選択すると、すべてのプルーニングオプションが使用可能になります。onetimeonly以外のスケジュール間隔を選択した場合、pruning オプション -until scn および -until date はサポートされず、次のエラーメッセージが表示されます。指定したアーカイブログプルーニングオプション、-until scn または -until date for the schedule interval hourly スケジュール間隔に -onetimelonly オプションを指定するか、または { -months | -days | -we週 | -hours } のいずれかのオプションを使用してアーカイブログの削除を実行します。

Microsoft Windows Server フェイルオーバークラスタ（WSFC）環境および Microsoft クラスタサーバ（MSCS）環境でフェイルオーバーが発生すると、サービス（仮想）アドレスがアクティブなホストにマッピ

ングされ、SnapManager スケジュールがアクティブな SnapManager ホストに調整されるように、Oracle サーバの SnapManager を再起動する必要があります。

- i

同じプロファイル名およびスケジュール名が別のリポジトリに存在する場合、そのリポジトリでバックアップのスケジュール設定処理は開始されません。処理は終了し、「operation is already running」というメッセージが表示されます。

| 状況 | 作業 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> オンラインまたはオフラインのデータベースのバックアップをスケジュール * します | offline または -online を指定して、オフライン・データベースまたはオンライン・データベースのバックアップをスケジュールします。これらのパラメータを指定する場合、-auto は使用できません。 |
| <ul style="list-style-type: none"> SnapManager では 'データベースがオンラインであるかオフラインであるかに関係なく' データベースのスケジュール設定を処理できます * | auto を指定します。auto を指定した場合、-offline または -online は使用できません。 |
| <ul style="list-style-type: none"> データファイルのバックアップをスケジュールする * | ファイルをカンマで区切ってリストするには、-data-files を指定します。たとえば、F1、F2、F3 などのファイル名を使用します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 特定の表領域のパーシャル・バックアップをスケジュール * | tablespaces を指定すると、カンマで区切った表領域がリストされます。たとえば、TS1、TS2、TS3 を使用します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> アーカイブ・ログ・ファイルのバックアップをスケジュール * | <p>次の情報を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> -archivelog アーカイブ・ログ・ファイルのバックアップをスケジュールする場合 -backup-dest : バックアップに含めるアーカイブルogファイルのデスティネーションをスケジュール設定します -exclude-dest : バックアップから除外するアーカイブルogのデスティネーションをスケジュール設定します |

| | |
|---------------------------------------|--|
| • 保持クラスの値を指定します * | retain を指定し、次のいずれかの保持クラスに従ってバックアップを保持するかどうかを指定します。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • 毎時 • 毎日 • 毎週 • 每月 • - 無制限の SnapManager デフォルトは hourly です。 |
| • アーカイブ・ログ・ファイルの削除をスケジュール * | バックアップのスケジュールを設定しているときにアーカイブログファイルをプルーニングするためには、**-prunelogs : アーカイブログファイルのプルーニングに使用するアーカイブログデスティネーションを指定するために、アーカイブログファイルをプルーニングするために指定します |
| • スケジュール名を入力 * | schedule-name を指定します。 |
| • 特定の時間間隔でのデータベースのバックアップをスケジュール * します | <p>interval オプションを指定して、バックアップを作成する、次の間隔を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毎時 • 毎日 • 毎週 • 每月 • - onetimeonly |
| • スケジュールを設定 * | <p>cronstring を指定し、個々のオプションを説明する次の 7 つのサブ式を含めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 は秒を表します。 • 2 は分を表します。 • 3 は時間を表します。 • 4 は 1 か月の 1 日を表します。 • 5 は月を表します。 • 6 は 1 週間のうちの 1 日を表します。 • （任意） 7 は年を表します。* 注意：* バックアップを cronstring と -start-time の異なる時間でスケジュールした場合、バックアップのスケジュールは -start-time で上書きされてトリガされます。 |

| | |
|---|--|
| • バックアップ・スケジュールに関するコメントを追加 * | schedule-comment に続けて概要文字列を指定します。 |
| • スケジュール操作の開始時刻 * を指定します | yyyy-mm-dd hh:mm 形式で -start-time を指定します。 |
| • バックアップのスケジュール設定時に、スケジュールされたバックアップ操作のユーザーを変更します。 * | runAsUser を指定します。この処理は、スケジュールを作成したユーザ（root ユーザまたは Oracle ユーザ）として実行されます。ただし、データベースプロファイルとホストの両方に有効なクレデンシャルがある場合は、独自のユーザ ID を使用できます。 |
| • プリタスクおよびポストタスク仕様 XML ファイル * を使用して、バックアップスケジュール操作のタスク前またはタスク後のアクティビティを有効にします | taskspec オプションを指定し、バックアップスケジュールの処理の前後に前処理または後処理アクティビティを実行するためのタスク仕様 XML ファイルの絶対パスを指定します。 |

バックアップスケジュールを更新しています

スケジュールされた処理のリストを表示し、必要に応じて更新できます。スケジューリング頻度、スケジュールの開始時刻、cronstring 式、バックアップをスケジュールしたユーザを更新できます。

1. バックアップのスケジュールを更新するには、次のコマンドを入力します。 `smo schedule update -profile profile_name -schedule -nameschedulename [-schedule-schedule comment] -interval { -hourly | -daily | -weekly | -onetimeonly } -start-timestarttime -cronstringstring -runasuserrunasuserrunasusercommentuser[-verbose]`

スケジュールされた処理のリストを表示します

プロファイルに対してスケジュールされている処理のリストを表示できます。

1. スケジュールされた処理に関する情報を表示するには、次のコマンドを入力します。 `smo schedule list -profile profile_name [-quiet | -verbose]`

バックアップスケジュールを一時停止する

SnapManager を使用すると、バックアップスケジュールを再開するまで一時停止できます。

アクティブスケジュールを一時停止できます。すでに中断されているバックアップスケジュールを一時停止しようとすると、「 Cannot suspend : schedule <schedulename> already in suspend state 」というエラーメッセージが表示されることがあります。

1. バックアップスケジュールを一時的に中断するには、次のコマンドを入力します。 `smo schedule suspend -profile profile_name -schedule - nameschedulename [-quiet | -verbose]`

バックアップスケジュールを再開しています

管理者は、中断したバックアップ・スケジュールを再開できます。

アクティブなスケジュールを再開しようとすると、「 Cannot resume : schedule <schedulename> already in resume state 」というエラーメッセージが表示される場合があります。

1. 中断したバックアップスケジュールを再開するには、次のコマンドを入力します。 `smo schedule resume -profile profile_name -schedule -nameschedulename [-quiet | -verbose]`

バックアップスケジュールを削除しています

不要になったバックアップスケジュールを削除できます。

1. バックアップスケジュールを削除するには、次のコマンドを入力します。 `smo schedule delete -profile profile_name -schedule -nameschedulename [-quiet | -verbose]`

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。